

斜里町過疎地域持続的発展市町村計画（案）に関する意見公募の結果について

1 意見公募手続（パブリックコメント）の実施状況

(1) 募集期間 令和3年8月2日（月） ～ 8月21日（土）

(2) 意見公募の結果

意見の応募者数 13件（13個人）

うち、有効者数 10件（10個人） 無効者数 3件（3個人）

無効とした理由 住所・氏名不記載のため 3件（3個人）

(3) 提出方法の内訳

	持 参	郵 送	F A X	電子メール
件 数（有効者）	0	0	1	9

(4) 意見数 12件

<内 訳>

項 目	件 数
子どもの医療費の無償化	10件
給食費の無償化	2件

2 意見の概要と町の考え方

寄せられた意見

① 子育て支援策として18歳までの医療費と給食費を無償化するべき。

医療費の無償化については、けがや病気は個人の努力ではどうしても防ぐことのできない突発的な事が起こりえます。専門医だと町内の病院では受診ができないことも考えられます。医療費だけでも助成があるとお金の心配をすることなく安心して子供に医療を受けさせる事ができるのではないのでしょうか。

より子育てしやすい環境づくりの為に給食費の無償化も必要だと思います。

子育て世帯の負担を軽減することが少子化対策へもつながるのではないのでしょうか。

② 子ども医療費、給食費など、子育て支援に活用されることを希望致します。子どもたちの健康を思うことは斜里町民憲章の本文1に定められている説明、心もからだも健康でくらしましょうという憲法規範に沿った理念であると確信しております。今一度、他市町村と比べ、充実しているとは言い難いこういった取り組みにこそ過疎債の活用を望みます。

③過疎債の活用として、子供医療費助成の無償化 高校生までの医療費無償化

④過疎債の活用として、子供医療費助成の無償化、高校生までの医療費無償化

- ⑤ 就学児の医療費の無償化を強く望みます。他の市町村は（一早く）子育て世帯への補助の導入に積極的ですが、斜里町の現況には失意しかありません。未来を担っていく世代にとっての住みやすい、住みたいと思える制度作りこそ、今の斜里町に最も足りない事だと思います。不公平感が生まれるなんて言っている場合じゃありませんし、漁業関係者の収入も減収しているのも分かりきっている事です。今後は不公平感が生まれる事もなくなってくる事も分かっている今だからこそ、きちんとした制度の見直し、改善を求めます。
- ⑥ 過疎債の活用法として子ども医療費助成の無償化を求めます。高校生まで医療費無償の町から転居してきたので、まさかと驚きました。決して余裕のある家計ではないので、子育て支援事業の優先順位として高いものではないでしょうか。
- ⑦ 過疎債の活用として子供医療費助成の無償化 高校生まで医療費無償化
- ⑧ 過疎債の活用として、子供医療費助成の無償化 高校生までの医療費無償化を要請します。
- ⑨ 過疎債の活用として、子供医療費助成の無償化、高校生までの医療費無償化を要請します。
- ⑩ 過疎債の活用として、高校生までの医療費助成の無償化を要請します。特にウトロは小児科にかかるためには40km走っていかないと行けなくガソリン代などの負担もあるため。

町・教育委員会の考え方と対応

【子どもの医療費の無償化】

- 今回の計画策定にあたっては、本町にとって初めての過疎計画であることから、「過疎対策事業債」を活用するため掲載が必須となる令和3年度の実施事業や、今後実施予定としている事業に基づく計画としております。
- 今回ご意見をいただいた「子どもの医療費の無償化」については、今後予定する第7次総合計画策定に向けた協議の内容を、計画に反映させていく考えでおります。
- 以上の理由により、原案のとおりとします。

【給食費の無償化】

- 学校給食費は、学校給食法に基づき、食材に係る経費を保護者負担としており、当面はこれを継続する考えです。なお、低所得世帯には町の制度により、引き続き給食費の全額を就学援助します。
- 以上の理由により、原案のとおりとします。